

京都市立芸術大学について

1 立地

京都芸大は、京都市立美術大学と京都市立音楽短期大学が統合して総合芸術大学となり、昭和55年から現在地にキャンパスを構えました。西京区は、京都市の西南部に位置し、京都を代表する河川である桂川や西山連峰を有する、自然に恵まれた地域であり、京都芸大も西山連峰を臨む丘陵地に立地した緑豊かなキャンパスです。

大学を取り巻く交通環境としては、京都市内を東西に貫く国道9号線の西端に位置し、京都市内から京都縦貫道自動車道へ接続する沓掛インターチェンジと近接しています。近年では、千代原口交差点(国道9号線)の立体交差事業の完了や、京都第二外環状道路の開通のほか、阪急桂駅～洛西口駅間の連続立体交差化事業の完了など、近年交通インフラの整備が進んでいます。

公共交通機関については、路線バスの利用で、最寄りの鉄道駅である阪急桂駅へは約20分、JR桂川駅及び阪急洛西口駅へは約15分でアクセスできます。

京都市立芸術大学 キャンパス概要	
場 所	京都市西京区大枝沓掛町13番6 京都市西京区大枝沓掛町14番26, 27, 197
施設用途	学校教育施設
敷地面積	70,835㎡ 〔芸術大学:68,601㎡〕 〔旧音楽高校:2,234㎡〕
用途地区	第1種中高層住居専用地域
容積率	200%
建ぺい率	60%
高度地区	20m第一種高度地区
防火地区	建築基準法第22条地域
そ の 他	第一種建築物修景地区、丘陵地北斜面に立地

2 主な施設の概要

中央棟、アトリエ棟、染織棟、漆工棟、陶磁器棟、彫刻棟、音楽棟、体育館、講堂(※)は、現キャンパスへの移転時に建設されました。

このうちアトリエ棟、染織棟、漆工棟、陶磁器棟、彫刻棟は美術教育、音楽棟は音楽教育に特化した芸術大学特有の施設であり、芸術創作活動を支援する特徴的な施設・設備があります(例:アトリエ棟:版画専攻が利用する腐食室、染織棟:染織専攻が利用する洗場、音楽棟:個人レッスン室)。

教育研究施設の充実のため、それ以降に設置された施設は、教育施設及び生涯学習の場として建設された学生会館(平成6年)、新研究棟(平成12年)があります。新研究棟の中には、同年設置の日本伝統音楽研究センター及び両学部の博士課程(後期)の研究室が設けられています。

(※)講堂は昭和56年の建設

3 主な施設とその特徴

施設名称	建築年次	延床面積	構造	階数	施設の内容
中央棟	昭和54年	7,936 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上4階，地下1階	学生食堂，購買，附属図書館，芸術資料館，陳列室，芸大ギャラリー，学長室，事務局，学科研究室等を設置。
アトリエ棟	昭和54年	7,726 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上4階	美術学部美術科，デザイン科各専攻の制作設備・研究室等を設置。
染織・漆工棟	昭和54年	2,067 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上2階	美術学部工芸科漆工専攻，染織専攻の制作設備・研究室等を設置。
陶磁器棟	昭和54年	1,225 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上1階	美術学部工芸科陶磁器専攻の制作設備・研究室等を設置。
彫刻棟	昭和54年	1,482 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上2階	美術学部美術科彫刻専攻及び構想設計専攻の制作設備・研究室等を設置。
音楽棟	昭和54年	3,061 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上3階	音楽学部の研究室，大合奏室・小合奏室，専門講義室，アーカイブ室，練習室，楽器庫を設置。
体育館	昭和55年	1,385 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上2階	メインコートにはバスケットボール正式コート（1面），略式コート（2面）がある。屋外にグラウンド有り。
講堂	昭和56年	1,588 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上2階	音楽学部の練習，その他各種演奏会等で使用される。また，入学式・卒業式などの式典，説明会で使用される。
大学会館	平成6年	2,349 m ²	鉄筋コンクリート造	地上3階，地下1階	交流室（演奏会，講演会，公開講座で使用），ホール，演習室（PCを使用した制作等），円形ステージ（屋外），小ギャラリーを設置。
新研究棟	平成12年	4,605 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造	地上8階	大学院博士（後期）課程の研究室やアトリエ日本伝統音楽研究センターが設置されている。
その他（倉庫等）		1,842 m ²			—
旧音楽高校	昭和54年	2,427 m ²	鉄筋コンクリート造，一部鉄骨その他造	地上3階	美術学部実習室，音楽学部練習室，収蔵庫等として使用。
計		37,693 m ²			—

4 耐震診断結果一覧

建物名	耐震性能	建築年次
音楽棟	Ⅱ	昭和 54 年
アトリエ棟	Ⅱ	昭和 54 年
中央棟	Ⅱ	昭和 54 年
陶磁器棟	Ⅰ	昭和 54 年
設備棟	Ⅰ	昭和 54 年
彫刻棟	Ⅰ	昭和 54 年
講堂	Ⅰ	昭和 56 年
染織棟	Ⅰ	昭和 54 年
体育館	Ⅰ	昭和 55 年
大学会館	Ⅰ	平成 6 年
新研究棟	Ⅰ	平成 12 年

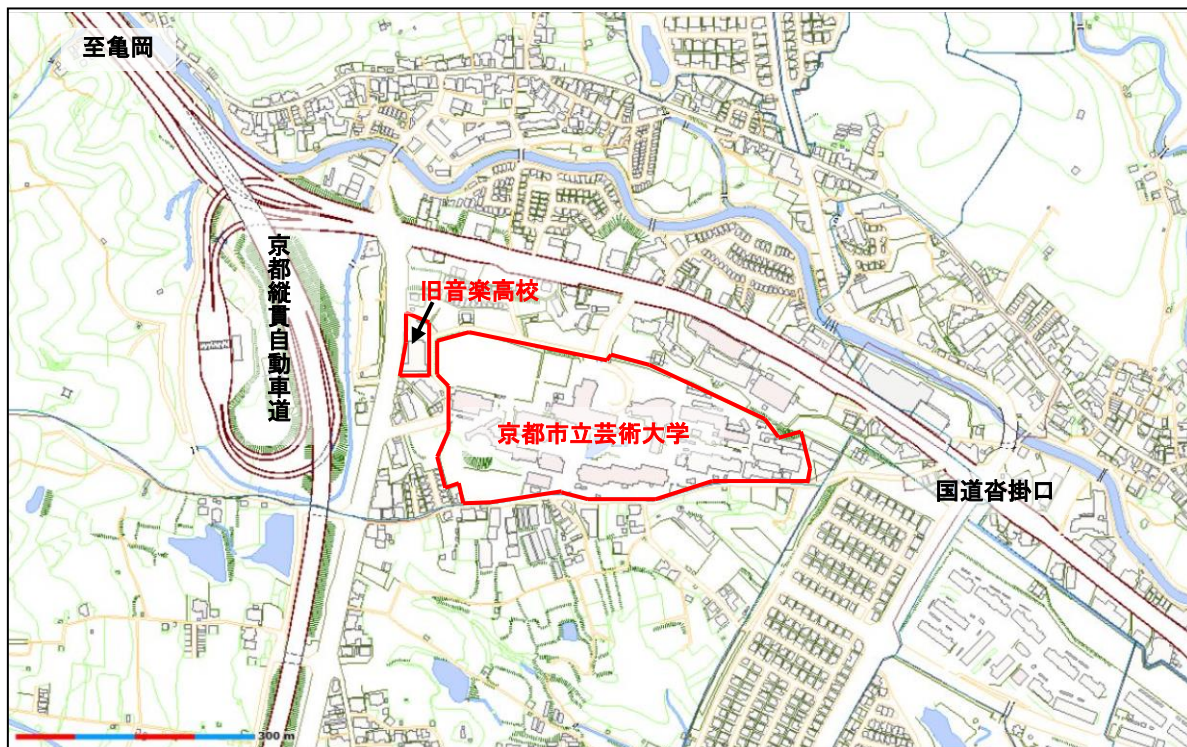
Ⅰ：地震の震動及び衝撃に対し倒壊又は崩壊する危険性が低いもの（Is 値 0.6 以上）
 Ⅱ：〃あるもの（Is 値 0.3～0.6）
 Ⅲ：〃高いもの（Is 値 0.3 未満）
 ＊Is 値＝構造耐震指標

5 バリアフリーに関する整備状況の調査結果

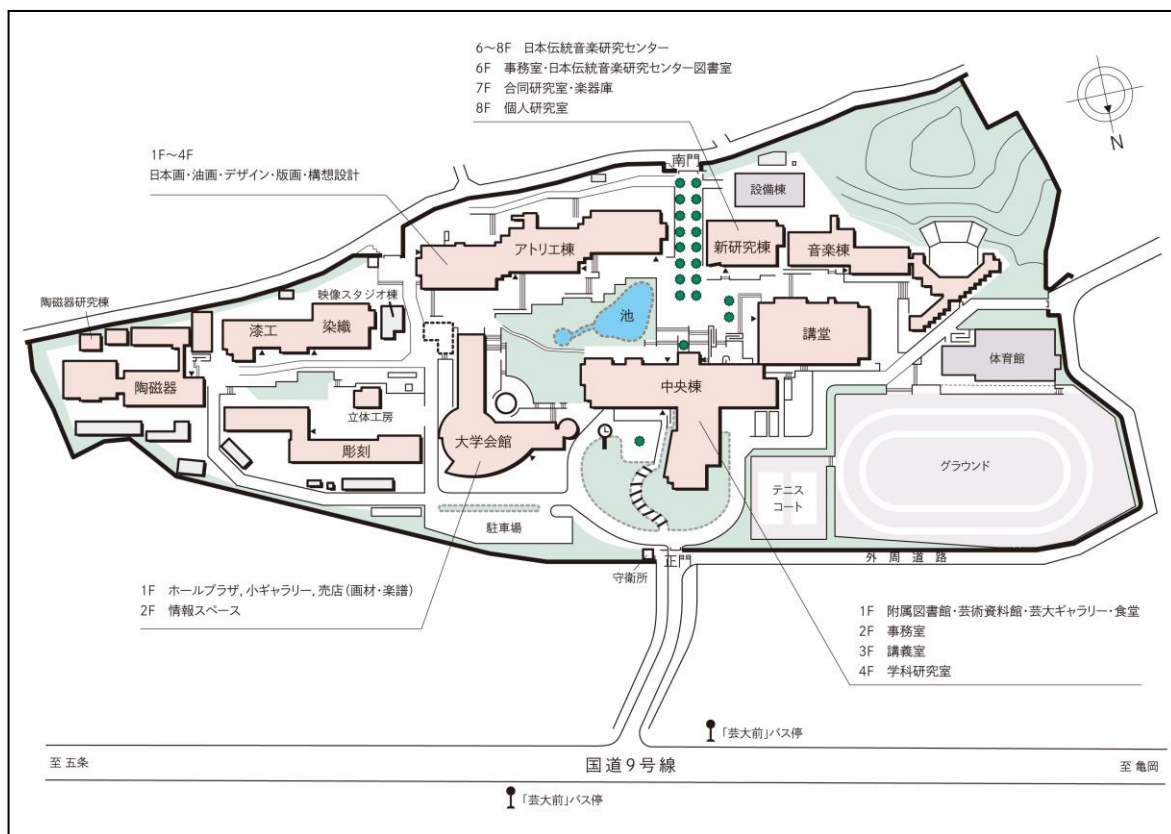
	車椅子対応等					階段補助 手すり	点字		視覚障害者等 対応避難設備	一般 便所	施設 案内板
	エレベーター	スロープ	引き戸	レバーハンドル	対応便所		ブロック	案内板			
中央棟	×	△	×	×	○	△	○	×	×	△	△
アトリエ棟	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	×
染織・漆工棟	×	×	×	×	×	△	×	×	×	△	×
陶磁器棟	—	△	×	×	×	—	×	×	×	△	×
彫刻棟	×	—	×	×	×	△	×	×	×	△	×
音楽棟	×	△	×	×	×	△	○	×	○	△	×
体育館	×	△	×	×	×	△	×	×	×	△	×
講堂	×	△	×	×	○	△	×	×	×	△	△
大学会館	○	○	×	○	○	△	○	○	○	○	○
新研究棟	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○
外構	—	○	—	—	—	×	×	×	—	—	×

※1 ○は整備済み，△は一部整備済み，×は未整備のことを指す。
 ※2 外構の車椅子対応等については，スロープのほか，段差の状況は△，対応駐車場は○である。

【周辺地図】



【構内図】



【施設写真】



正門



中央棟



アトリエ棟



染織棟



大学会館



新研究棟